

シルバーくだまつ

星のさと

NO.51

平成25年6月20日

編集発行／公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600



シルバー農園

平成25年度 定時総会

平成25年度定時総会が5月28日（火）10時から下松市勤労者総合福祉センターにおいて、下松市長ほか多数のご来賓をお迎えし、会員530人（含む委任状）出席のもと盛大に開催されました。

土田理事の総司会により、宮川理事の開会宣言・市民憲章唱和、官田理事長の挨拶につづき、下松市長、山口県周南県民局長、下松市議会議長からご祝辞をいただきました。

議長には、石田幸宣氏が選出され、原田事務局長が平成24年度事業報告、収支決算報告、さらに定款の一部変更についての3議案を提案し原案どおり承認決議されました。

また、議事に先立ち理事長より、永年在籍会員50人（20年在籍2人、15年在籍12人、10年在籍36人）に対して表彰状並びに記念品が授与されました。



本日、平成25年度下松市シルバー人材センターの定時総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には、多数ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、井川下松市長をはじめ、ご来賓の方々には、何かとご多忙のところご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度、当センターは、設立25年の節目の年でありました。

また、社団法人から公益社団法人として、新たにスタートした年でもありました。

当センターは、これまで着実にその実績

ごあいさつ



理事長
官田 敏彦

を挙げて参りましたが、これもひとえに、下松市をはじめ、関係機関のご指導・ご支援、地元企業・市民の皆様の温かいご理解・ご協力、さらには会員、役職員の皆様のご労苦によるものと、心から感謝申し上げます。

引き続き、地域における高齢者の就業や生きがい対策を支える中核的組織として、地域社会からご理解とご協力がいただけるよう力を合わせて努力していききたいと思っております。

さて、24年度の事業実績を23年度と比較

してみますと、長引く景気の低迷及び適正就業の徹底等による影響は、当センターにおいても例外ではなく、受注件数は145件減少し、契約金額も1,681万円の減少と、2年連続して減少しております。

しかしながら、収支決算につきましては、事務的経費の削減等によりまして、約110万円の収益増となりました。

このところの景気は、「緩やかな持ち直し」の傾向にあるとのことではありますが、当センターを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております中で、従前に

も増して、効率的な運営に努めますとともに、本年度は、会員の確保・就業機会の開拓・拡大を図るため、会員、役職員が一体となつて地域班活動の活性化に取り組んでいきたいと思っておりますので、積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。

今後とも関係各位には、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

平成24年度事業実績

我が国の経済・雇用情勢は、世界経済の減速等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いています。

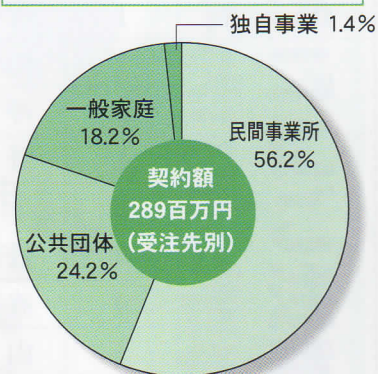
このような中、24年度は、特に民間企業及び一般家庭からの受注控え、警備業法等の法律に抵触する恐れのある受注形態の見直し等の影響もあり、会員数及び受注契約額は減少となりました。

しかしながら、収支決算については、節減・節約等により、約110万円の収益増となりました。

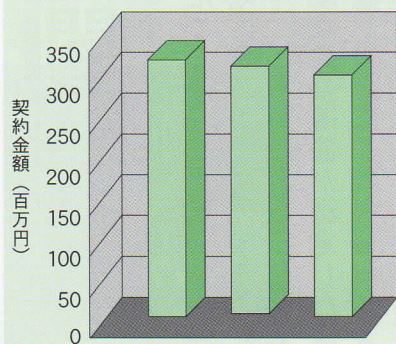
一方、就業率については、昨年度に引き続き大幅に改善されました。

今後は、当面する現状を踏まえ、発展、充実すべき課題等の具体的方策を明らかにし、会員、役職員が一丸となって事業運営に努めてまいります。

受注先別契約金額の割合



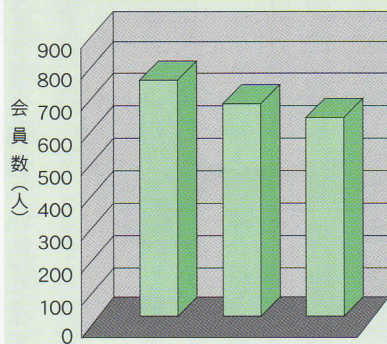
受注契約金額の推移



	平成22年度	平成23年度	平成24年度
契約金額	329	312	289

(単位：百万円)

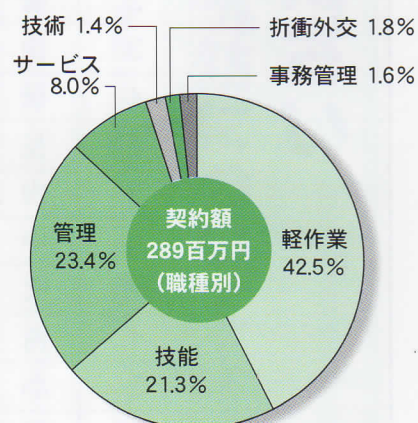
年度末会員数の推移



	平成22年度	平成23年度	平成24年度
会員数	739	666	622

(単位：人)

職種別契約金額の割合



受賞者名簿 (敬称略)

【20年在籍会員】

菅光 節子 相本 治馬

【15年在籍会員】

野田 雅夫 原田 昭夫 渡辺 弘子 岡村 康江 野村 和江 中野 幸男 松永 英雄
 精木ミチ子 神田 孝次 岩下 義昭 藤井 保亮 早川 靖子

【10年在籍会員】

川口マス子 千葉 勝子 小松メグミ 田中 文夫 財間 重信 浜野 秀明 山崎 幸子
 安田 務 遠藤 信幸 松岡 洋司 安達 喜明 横田 進 相本 守 吉本 亀松
 松田久美恵 多田 憲一 河田 綾子 石迫 利男 糸瀬 照義 井川 靖恵 薬師神邦行
 石田 幸宣 岩崎 満明 藤田三郎左衛門 岡田 嗣夫 山本 博文 金子 泰三
 松田 良子 岡村 克志 森田美智子 廣政 康子 師井 浩二 玉木 章嘉 柴田 聡
 仲築間末広 久保 徳二

地域班班長・副班長名

H 25・5・15現在（敬称略）

地区名	班名	班 長 名
豊 井	1	清 水 孝 俊
旗 岡	1	松 永 善 男
	2	沖 田 誠
下 松	1	野 田 美貴夫
	2	千 葉 勝 子
	3	佐々部 省 三
	4	波多野 智
	5	山 下 雅 則
	6	玉 木 章 嘉
笠 戸	1	中 野 幸 男
久 保	1	石 迫 利 男
	2	横 田 進
	3	山 本 泰 武
	4	橋 本 英 雄
花 岡	1	長 嶺 努
	2	内 山 春 日
	3	中 嶋 初 美
	(副)	大 泉 武 雄
	4	西 村 行 史
末 武	5	小 田 博 圀
	1	岡 田 嗣 夫
	2	西 田 節 夫
	3	山 根 紀 賢
	(副)	小 田 親 生
	4	多 田 憲 一
	5	田 鹿 壮 三
米 川	6	嘉 本 勲
	1	内 富 清 文
	2	兼 政 茂

以上役割をさらに具体化し、地域班がその設置目的に沿って活動し、機能していく必要があります。

シルバー人材センター地域班の役割を大きく三つに分けると、①センターの組織の意思を、全ての会員に伝えること ②会員の意見や要望をセンター運営に反映させること ③会員の一人一人が地域班活動を通じて、地域社会のあらゆる層に対しセンターの活動状況をアピール及びPRすることとされています。

こうしたことから、今年度より、各地域別に地区懇談会を開催することになりました。

なお、懇談会の開催が決定した地域班の方には、事前にご案内いたしますのでその折には、是非、積極的にご出席いただきますようお願いいたします。



地区懇談会を開催

知っていますか？
下松市シルバー人材センターの

おーむー
あれやこれや。。

- シルバー人材センターのしくみ
- 仕事を受けてからの流れ 等
- 事務局からのお知らせ
- 各種研修会の報告
- 各種行事の案内→報告
- 情報公開
- ほしのさと・あじさいだより縦覧 等

下松市シルバー人材センターの
全てがわかります

あなたの声を
お待ちしております!!

電話 44-2600

FAX 44-2602

メール kudamatu@sjc.ne.jp

見て、みて。



下松市シルバー

検索

マダニに注意ください ダニ媒介性疾患の予防について



下松市保健センター
保健師

中村 裕子

最近、マダニという人の血を吸うダニが媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群」で死亡した人が国内で相次いで確認されました。

山口県でも4月に2人目の死者が確認され、「まさかダニで！」と私もびっくりでした。

マダニは草むらや藪などに生息し、衣類や寝具に発生するヒョウダニなどの家庭内に

生息するダニとは異なるので、過度に心配する必要はありませんが、野外で活動機会が多いこの季節、予防策はしっかりと、感染しないように気を付けましょう。

①ダニの予防ポイント
①ダニに咬まれないことが重要です。

健康百話



大きさは血を吸っていない状態で2～3mm
活動期は春から秋にかけて

- ② 森林や草地などへ行く時は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用し肌の露出を少なくする事が大事です。
- ③ 屋外活動後には、ダニに咬まれていないか確認してください。
- ④ 吸血中のダニに気が付いた際には、出るだけ早く病院（皮膚科）で処置を受けてください。

マダニは人に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から長いもので10日間）吸血します。無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、自分で取り除くのは危険です。

⑤ ダニに咬まれた後に、発熱、消化器症状等の症状があった場合は、病院で受診してください。

県内の傷害事故及び損害賠償事故件数について

年度	傷 害 事 故				賠償責任事故
	発 生 件 数			死 亡 重篤者	件 数
	就業中	途 上	合 計		
19	61(1)	15(1)	76(2)	2(0)	41(0)
20	56(0)	14(1)	70(1)	0(0)	43(0)
21	62(2)	6(1)	68(3)	0(0)	38(0)
22	52(0)	21(0)	73(0)	0(0)	46(1)
23	41(2)	8(0)	49(2)	1(0)	62(2)
24	50(2)	10(0)	60(2)	0(0)	42(0)

【注】（ ）内は下松市

県内の傷害事故件数は、22年度は増加したものの23年度には減少、24年度には再び増加しています。
また、23年度には重篤事故が1件発生しています。
損害賠償事故件数については増加傾向にあり、安全対策を十分取るよう注意喚起が必要です。

会員のひろば



花岡2班
尾高明夫
(管理業務)

早いもので笠戸島旅行村の管理業務に就いて5年になります。

私たち管理班は現在、会員8人が4日に1回のローテーションで就業しています。

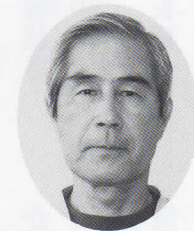
シーズン中の宿泊予約の受け、アイスクリーム販売、接客業務、清掃などの日常業務や時間があれば管理棟周辺の草刈りも行っています。

私たちのほかに環境班も含めて一丸となって皆さんに気持ちよく過ごしていただけるような施設にしようと頑張っています。

「よく管理された素晴らしいところですね」の言葉をいただいた時は嬉しくて「ありがとうございます」

ます」と返す言葉もつい弾みます。時にはご意見をいただくこともあります。ありがとうございます」の一言と誠意を感じていただける対応が大事と全員で心がけて就業しています。

シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の精神で明るく、楽しく、生きがいある人生を送りたいと思っています。



末武1班
村田孝
(管理業務)

シルバー人材センターに入会して丸3年になります。

現在、男性3人が2人1組でローテーションを組んで早朝から駐輪場の整理を楽しく行っています。

幼い子供を連れてパートに向かわれるヤングママ、朝から元気ハツラツな高校生、私よりはるかに人生経験が豊かとうかがえる方々など多くの人との出会いがあります。

「おはようございます」の挨拶から私の1日が始まります。いろいろな人との弾む会話、利

用者からの温かいねぎらいの言葉、こうして心地よく元気に日々をスタートできることに感謝しています。これからも「生涯青春」の心意気で頑張ります。



下松6班
行友麗子
(剪定班)

剪定班の仲間に入れていただいていたアツと言う間に3年目を迎えました。

最初に参加した研修会で聞いた言葉「ヒヤリハット」・・・どんな帽子のこと？ 興味がわきました。「ヒヤッ！」「ハッ！」「アッ！ 危なかった！」と言う瞬間を表現した言葉だったのです。

『手早い作業より安全第一』を肝に銘じながら剪定の片付け作業に精を出しています。

茂っていた庭木が手入れされ庭全体が明るく変身したときの感動、剪定のお手伝いができる喜びを感じる一瞬です。

これからも安全就業を第一に楽しく就業していけるよう願っています。



花岡1班
岡本洋子
(家事援助班)

シルバーで介護の仕事に就いて3年になります。

朝食で忙しい時間帯、朝の6時半から8時半までを主に就業しています。

お世話しているのは80～90歳代の方で、人生を極めた経験話には学ぶことが多く、日々勉強の場という感じです。

「あなたが来るのを待っていたんだよ」という言葉に元気をいただいています。

ある雪の積もった日、脳梗塞で身体も言葉も不自由な男性と車椅子での散歩に付き合い雪景色を楽しみました。

後日、娘さんから職場に「父がとても喜んでいてありがとうございます」とお礼の電話があったそうです。

この方は筆談ですらコミュニケーションが難しいのに家族の方にはちゃんと伝わっている、こんな些細なことでも喜んでいただける、仕事冥利につきますと思います。もっともっと利用者さんの心に寄り添っていこうと誓いました。

会員親睦 日帰りバス旅行

キリンビール甘木工場・大刀洗平和記念館・太宰府天満宮



3月16日(土)は絶好の行楽日和に恵まれ、参加40名が終始和やかに楽しい旅を満喫しました。

●キリンビール甘木工場

この工場は麦芽の栽培から醸造まで出来るという広大な敷地の中にあります。お昼前に到着し、早速コンパニオンさんの案内で工場見学をしました。続いてお楽しみのビールの試飲会では、若干疲れ気味の皆さんも、出来たての格別においしいビールで一気に元気を取り戻された様子でした。

また、昼食は同一敷地内の工場に隣接する食堂でヘルシージンギスカン料理を満喫しました。



●大刀洗平和記念館

ここは大正8年、旧陸軍の飛行場として建設されましたが、昭和20年3月、空爆によりその姿が一瞬にして消えたとのことです。

近年になって「時代を駆け抜けた数多くの人たちの真実を知り、現代の平和の有難さを語り継ぐ」目的でこの地に記念館が建設されたものです。特攻隊員の遺品や手紙等の展示を見学、またホールで戦時中の悲惨な様子を語り部から伝えられ、平和の有難さを改めて実感しました。

●大宰府天満宮

梅の開花時期をすこし過ぎたとはいえ、広い境内には甘い香りの花もまだ残っており、散策を楽しませてくれました。

本殿へは「過去の橋」「現代の橋」「未来の橋」を渡り、参拝。

慌しい日帰りバス旅行でしたが、楽しい思い出を胸に無事に帰松しました。

3月3日(日)

ほしらんど研修会と親睦会

「大城」から「ほしらんどくだまつ」に会場を変えて初めての研修親睦会です。

研修は、下松市消費生活センターの相本美重子所長に「消費生活問題について」と題して講演していただきました。相変わらず被害が減少しない「オレオレ詐欺」、実例を挙げてのわかりやすい説明が好評でした。

続いて行われた親睦会は、地元出身の「真山龍太郎」演歌浪曲ショーや恒例となったカラオケ・演芸大会で盛り上がりま





カメラルポ



25.3.3 会員研修会と親睦会

研修会のテーマは、『消費生活問題』について、その後、なごやかに親睦会が開催されました。



25.3.14 未就業会員共同作業

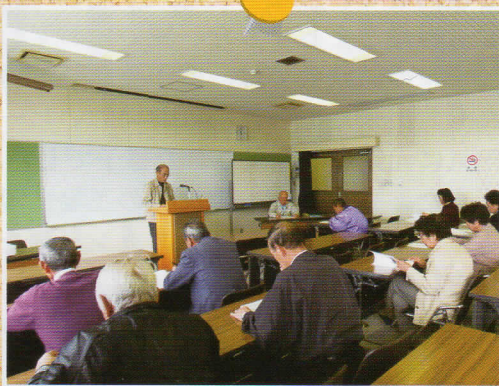
未就業会員37名により、星のさと親水公園・スポーツ公園の2班に分かれ除草・清掃作業が実施されました。



25.1.24 明るく・楽しく・元気に交流会

女性パワーさく裂!!
家事援助班の取組み事業の一環で、年4回開催されています。

24.11.13 職群班安全研修会
安全委員会の主催で、今年度は、家族旅行村管理班の方を対象に開催されました。



25.5.30 地区懇談会
今年度から、開催することになり、まず米川・豊井・旗岡地区の方を対象に実施されました。

表紙によせて

5月のシルバー農園は「玉ねぎ」の収穫が終わり、夏野菜（大根・人参・かぶ・きゅうり・ナス・ピーマン）の手入れ、「さつまいも」植え付けの畝を立てる作業の真っ最中でした。

これから「シルバー朝市」「モール周南の地産地消コーナー」「大城の売店コーナー」等で販売いたしますので、是非お立ち寄りください。

編集後記

なにもわからないまま、広報委員を仰せつかり一年が経ちました。原稿作成・編集に右往左往し、他の広報委員の方々の経験を参考にしながら紙面の充実に努めています思うに任せません。

これから日を追って暑くなりますが、皆さん熱中症にかからない様に気を付けましょう。
新任広報委員